

千歳市市民協働推進会議議事録

会議名	市民協働推進会議（第8期 第6回）		
日時	令和3年12月13日（月） 18:30～19:10	会場	市役所第2庁舎 5・6会議室
出席者	委員：13人 事務局：3人		

議題	(1) ひと・まちづくり助成事業の選考審査 【事業名】アートとテクノロジーの融合を考える展覧会開催事業 (2) その他
決定事項	(1) ひと・まちづくり助成事業選考審査 【事業名】アートとテクノロジーの融合を考える展覧会開催事業 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 「安全性」について、新型コロナウイルス感染症対策として適切に対応するほか、例えば、電気に関して、使用器具や電気配線等の配置場所や使用方法に十分留意するなど、会場内の安全確保に十分配慮すること。 「発展性」について、今後の事業は、本申請事業の実施結果を踏まえて、時間に余裕を持ったスケジュールで計画し、テーマや位置づけ、手法などを十分検討すること。また、事業の実施に当たっては、大学生委員の学業に影響が生じないように、活動の時期や頻度に配慮するなど、安定的で持続可能な体制づくり・団体運営に努めてほしい。

委員 申請者

<p>(1) ひと・まちづくり助成事業選考審査</p> <p>【事業名】アートとテクノロジーの融合を考える展覧会開催事業</p> <p>< 質疑応答 ></p> <p>展覧会の主な対象者は学生や子どもか。</p> <p>年齢問わず、幅広い層の方に来ていただきたいと思っている。</p> <p>今回、単年度で申請しているが、来年度以降も続けていく予定はあるのか。</p> <p>具体的な計画はまだないが、今回の結果を踏まえ、来年度以降も続けていきたい。</p> <p>作品のテーマは決まっているのか。</p> <p>この展覧会に関しては具体的に決まっていないが、1月に札幌で開催予定の展覧会は、「PLATFORM」というタイトルで「基盤」という意味があり、社会的基盤や社会の構造化された部分について考えてもらいたいと思っている。千歳は札幌に比べ、芸術に触れる機会が少ないので、メディアアートを知ってもらうことやアートを身近に感じてもらうこと、アートは楽しいものだを知ってもらうことをテーマにしたい。</p> <p>氷濤まつりやさっぽろ雪まつりと同時期に開催するというので、人出の増加が予想されるが、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策についてはいかがか。</p> <p>臨機応変に対応したい。最悪の場合は中止となるが、開催できる状況でも、体温の計測や消毒、人数制限を行う。状況によっては、予約制にすることも考えている。</p> <p>今後、コラボしたいアーティストはいるのか。</p> <p>今回コラボする艾沢祥子さんは70代のベテランの方なので、次回は若手のアーティストや複数のアーティストに参加してもらうことを考えており、すでに気になる方が何名かいる。コロナ禍で作品</p>

を発表する場が減り、苦しい思いをしているアーティストがたくさんいるので、少しでも発表の場を提供し、かつ、市民の皆さんにも楽しんでいただけるような展覧会にしたい。

実行委員会のメンバーに学生が数名いるが、この学生たちは美術系のサークルなどに属しているのか。

私が顧問をしている「ライトアート工房」という学生団体に属しているメンバーで、この事業に参加したいと希望した学生たちである。

学生の作品を発表する場はないのか。

作品作りは学生にも協力してもらおう。また、ライトのプログラミングなどの作業も学生に行ってもらおう予定である。

広報について、情報誌「ちゃんと」に掲載すること以外に考えているのか。SNSを活用するなど様々な方法で幅広く周知してほしい。

SNSも活用し、幅広く周知していく。

(2) その他

次回開催は未定。